

宇都宮商工会議所 地域活性化委員会 活動報告書

令和7(2025)年10月2日

宇都宮商工会議所  
会頭 藤井 昌一 様

地域活性化委員会  
委員長 深澤 雄一

当委員会は、令和4(2022)年度から委員会が所管する重要事項の調査・研究を進めてまいりました。

このほど、「歴史とプロスポーツの融合による宇都宮の魅力発信」について調査・研究が終了しましたので、その活動経過と結果についてご報告します。

## 地域活性化委員会 委員名簿

令和7(2025)年10月 日現在(敬省略・順不同)

委員長	深澤 雄一	(株)フカサワ 取締役会長)
副委員長	横倉 正一	(株)横倉本店 代表取締役社長)
委員	石黒 智之	(野村証券(株)宇都宮支店 支店長)
同	赤塚 博実	(株)カネマス 取締役会長)
同	松田 雅博	(アクサ生命保険(株)宇都宮支社 支社長)
同	瓦井 成	(光機材(株) 代表取締役社長)
同	青木 敬信	(青源味噌(株) 代表取締役社長)
同	大田垣 一郎	(株)カンセキ 代表取締役社長)
同	吉田 元	(関東自動車(株) 代表取締役社長)
同	福田 治久	(株)丸治 代表取締役社長)
同	仲代 順哉	(株)ケイエムシー 代表取締役社長)
同	鈴木 章弘	(協)宇都宮餃子会 専務理事兼事務局長)
同	岡崎 善胤	(株)不二ドライ 代表取締役社長)
同	和氣 康匡	(有)高林堂 代表取締役)
同	児玉 博利	(税理士法人児玉税経 代表社員)
同	五十畑 嘉	(関東インフォメーションマイクロ(株) 代表取締役社長)
同	田嶋 宏章	(株)ホテルニューイタヤ 代表取締役社長)
同	荒井 学	(宇都宮土建工業(株) 代表取締役)
同	佐畑 浩司	(東都工業(株) 代表取締役社長)
同	矢治 和之	(株)ロココ企画装飾 代表取締役)
同	金柿 説生	(有)石川印刷所 代表取締役)
同	坂本 昭一	(株)新光社 代表取締役会長)
同	伴 靖	(株)総合印刷 代表取締役)
同	鈴木 隆之	(岩村建設(株) 代表取締役社長)
同	田嶋 久登志	(有)ララ・ドリーム 代表取締役)
同	茨木 亮吉	(東京海上日動火災保険(株)栃木支店 支店長)
同	森田 陽子	(有)ニューみらく 代表取締役)
同	星 匡典	(星工業 代表)

以上28名

## 目 次

I 委員会の活動経過	..... P 1 ~ P 2
II 地域活性化委員会におけるこれまでの意見等	..... P 3
III まとめ ー提案・要望ー	..... P 4 ~ P 5
1 宇都宮市の歴史文化の特性を活かしたPR	
2 後世への歴史の伝承について	
3 プロスポーツチームとの連携によるPR強化	
IV 参考資料	..... P 6 ~ P 26
1 宇都宮市の地域資源について	
2 宇都宮市歴史文化基本構想について	
3 宇都宮市の山車・屋台・天棚について	

## I 委員会の活動経過

### 1 第1回委員会（令和5（2023）年3月8日）

#### (1) 内容

ア 前期地域活性化委員会活動報告について

イ 地域活性化委員会の研究テーマについて

➡ どのような調査・研究テーマが良いか意見交換を行った。また、欠席した委員からも意見聴取し、今期のテーマを検討することとなった。

#### (2) 出席者 6人

### 2 第2回委員会（令和5（2023）年9月6日）

#### (1) 報告事項

ア 第1回委員会の振り返り

#### (2) 協議事項

ア 地域活性化委員会の調査・研究事項について

イ 令和5年度地域活性化委員会活動計画（案）について

ウ 意見交換

#### (2) 出席者 10人

### 3 第3回委員会（令和5（2023）年11月8日）

#### (1) 内容

ア 講話 テーマ 宇都宮城下の町とその変遷について

イ 講話者 宇都宮市文化財保護審議委員会

委員長 大嶽 浩良 氏

➡ 委員会活動として、地域資源としての宇都宮の歴史について調査・研究を進めることとなったため、宇都宮とはどのようなまちかを再認識するために宇都宮文化財保護審議委員会の大嶽委員長に講話をお願いした。その後、質疑応答を行い知識を深めた。

#### (2) 出席者 8人

### 4 第4回委員会（令和6（2024）年2月27日）

#### (1) 内容

ア 講話 テーマ 宇都宮市 歴史文化基本構想について

イ 講話者 宇都宮市教育委員会事務局 文化財担当

副参事 今平 利幸 氏

- ➡ 宇都宮市が、市の歴史についてどのような方針をもって施策を実施しているかを調査研究するため、宇都宮市教育委員会事務局 文化財担当の今平副参事に講話をお願いした。その後、質疑応答を行い、市の施策に対する理解を深めた。

(2) 出席者 11人

## 5 第5回委員会（令和6（2024）年6月5日）

(1) 内容

- ア 講話 テーマ 宮に根付いた祈りの形ー山車・屋台・天棚ーについて
- イ 講話者 宇都宮市伝統文化連絡協議会  
会長 小川 聖 氏
- ウ 見学 宇都宮城址公園（山車見学）

- ➡ 宇都宮の山車・屋台・天棚について調査研究するため、宇都宮市伝統文化連絡協議会 小川会長に講話をお願いした。その後、実際に宇都宮城址公園内のまちづくり情報館を見学した。展示されている桃太郎山車と火炎太鼓はとても立派なものであった。

(2) 出席者 11人

## 6 第6回委員会（令和7（2025）年7月15日）

(1) 内容

- ア 地域活性化委員会の活動報告書（素案）について
- イ 委員会の今後の進め方について
- ウ 意見交換

- ➡ 今期の地域活性化委員会活動について取りまとめた、活動報告書（素案）について事務局から説明を行った。続いて、その内容について、委員から意見を聴取したところ、活発な意見交換が行われた。

出席者 11人

## 7 第7回委員会（令和7（2025）年10月2日）

(1) 内容

- ア 地域活性化委員会の活動報告書とりまとめについて

- ➡ 第6回委員会にてお示しした、活動報告書（素案）について、委員からの意見を基に修正を行った活動報告書（案）を取りまとめ、事務局から説明を行った。続いて、その内容について意見交換を行った。

(2) 出席者 12人

## II 地域活性化委員会におけるこれまでの意見等

### 1 宇都宮の地域資源の情報発信について

- (1) 歴史・スポーツなどの地域資源はあるがPRが図れていない。
- (2) 宇都宮には、歴史的な名所が多くあるはずだが、そうした魅力を発信して人が集まる仕掛けが必要である。
- (3) 市外からの来訪者に、いかに宇都宮の魅力を伝えられるかが大切。
- (4) 宇都宮市には街の各所に歴史について書かれている説明看板があるが、周知の場が足りない。
- (5) 鎌倉などでは、ご当地ツアーなどを開催し、二次元コードやARなどを駆使し回遊できる仕組みができていた。

### 2 後世への歴史の伝承について

- (1) 若いうちから地域の歴史について簡単に学べる資料があれば、地域のことを誇りをもって説明できる人が生まれるのではないか。
- (2) 自分たちの知らない歴史があり、次世代に繋げていかなければならないことから、歴史を重んじて知っていく必要がある。
- (3) 新入社員が着任すると、宇都宮二荒山神社が街の中心である話や、来らっせで餃子を食べさせたりして、宇都宮の歴史を学んでもらうようにしている。

### 3 プロスポーツチームとの連携による地域活性化について

- (1) 国土交通省の方では予算を確保し、スポーツツーリズムに力を入れている。宇都宮では自転車競技の「宇都宮ブリッツェン」等が活躍しているが、メディアへのPRが足りないと思う。ジャパンカップの観戦型は通年開催されているが、参加型のレースを誘致できれば、県外の参加者がPRして広めてくれるので、より宣伝効果がアップする。
- (2) 歴史・スポーツなど資源はあるがPRできていない。若者や県外の人意見を聞き、PRに対して時間とお金をかけても良いのではないか。
- (3) 宇都宮二荒山神社の鳥居の所が3×3の会場になっていることに驚きと感動を覚えた。

### Ⅲ まとめ —提案・要望—

当委員会は、令和4(2022)年度から「歴史等の地域資源を外部にどう発信するか」という調査・研究テーマのもと、委員会を7回開催した。

第3回委員会では、宇都宮が日光社参の宿館であったことから、まちの中心として栄えてきたことがわかった。第4回委員会では、宇都宮市が掲げる「歴史文化基本構想」について学び、宇都宮市には、宇都宮城を中心に発展してきた歴史、この地と関わりがあった偉人たち、今日まで語り継がれている伝説、そして現存する文化財や伝統行事など、数多くの貴重な誇るべき歴史的資源が存在している。

しかし、これらの魅力的な資源を外部に向けて積極的に公開・発信する取り組みが十分とは言えず、その活用が課題となっている。

多くの歴史文化資源は保存と活用による好循環を理想とし、それにより地域の魅力の増進や活性化に繋がるとされている。地域資源は歴史のみに留まらず、年々人気が高まるスポーツもその1つである。宇都宮にはプロスポーツ3団体の拠点がある。

好事例としては、バスケットボール3×3を宇都宮のシンボルである宇都宮二荒山神社鳥居前で開催しているところである。歴史とスポーツの融合により、宇都宮の魅力を広く国内外に発信している。

このような経緯を踏まえ、以下の提案・要望について、商工会議所が行政や関係機関と連携を密にしながら、「歴史とプロスポーツの融合による宇都宮の魅力発信」の実現に向けて取り組んでいただきたい。

#### 1 宇都宮市の歴史文化の特性を活かしたPR

宇都宮は、宇都宮明神（宇都宮二荒山神社）と宇都宮城を軸として発展してきたまちである。戊辰戦争および太平洋戦争により、市街地の多くが焼失したが、その後復活を遂げてきた。このような特性を生かし、その軸に関わる歴史や文化財等の整備と、内外への情報発信を強化していただきたい。

#### 2 後世への歴史の伝承について

若者世代を対象に、地域の歴史や文化に触れる機会を創出するとともに、宇都宮城址公園にある既存の展示物等を活用しながら、宇都宮の成り立ちや、歴史的人物、文化財を分かりやすく掲載したマップ等を新たに作成し、より身近な場所で歴史に触れる機会を創出し、広く市民や来訪者に周知を図るには、ICTの効果的な活用も併せて検討していただきたい。

#### 3 プロスポーツチームとの連携によるPR強化

宇都宮を拠点とする3つのプロスポーツチーム（栃木SC、宇都宮ブレックス、宇都宮ブリッツェン）の活躍は、宇都宮ブランドとして大きな資源である。各スポーツチームの集客力と全国への情報発信力は、宇都宮のPRに欠かせない存在であり、宇都宮の魅力発信のためさらに宇都宮市や観光関係機関との連携を密にしていきたい。